

共助社会づくりシンポジウムin関西

SBの現状とその可能性について

■2014年6月14日(土)



Non Profit Organization
特定非営利活動法人 しゃらく

〒654-0071 神戸市須磨区須磨浦通4丁目4-6 204

TEL:078-735-0163 FAX:078-735-0164

<http://www.123kobe.com> E-mail ogura@123kobe.com



Shoraku Travel Club
しゃらく旅倶楽部

は最高の
旅リハビリ

ラータスカ

老舗
福

行きたい時に、行きたい所へ
あなたの旅をお手伝いします。

078-735-0163

Non Profit Organization
特定非営利活動法人 しゃらく

■ 他の旅行会社と何が違うのか？

- 要介護・要支援の方
- 身体に障がいのある方
- 病を患っている方



介護付き旅行の提案

■ 旅行に行きたいというニーズはあるのか？

150人の要介護3~5の方へアンケート

旅行に行きたい・・・**63.6%**

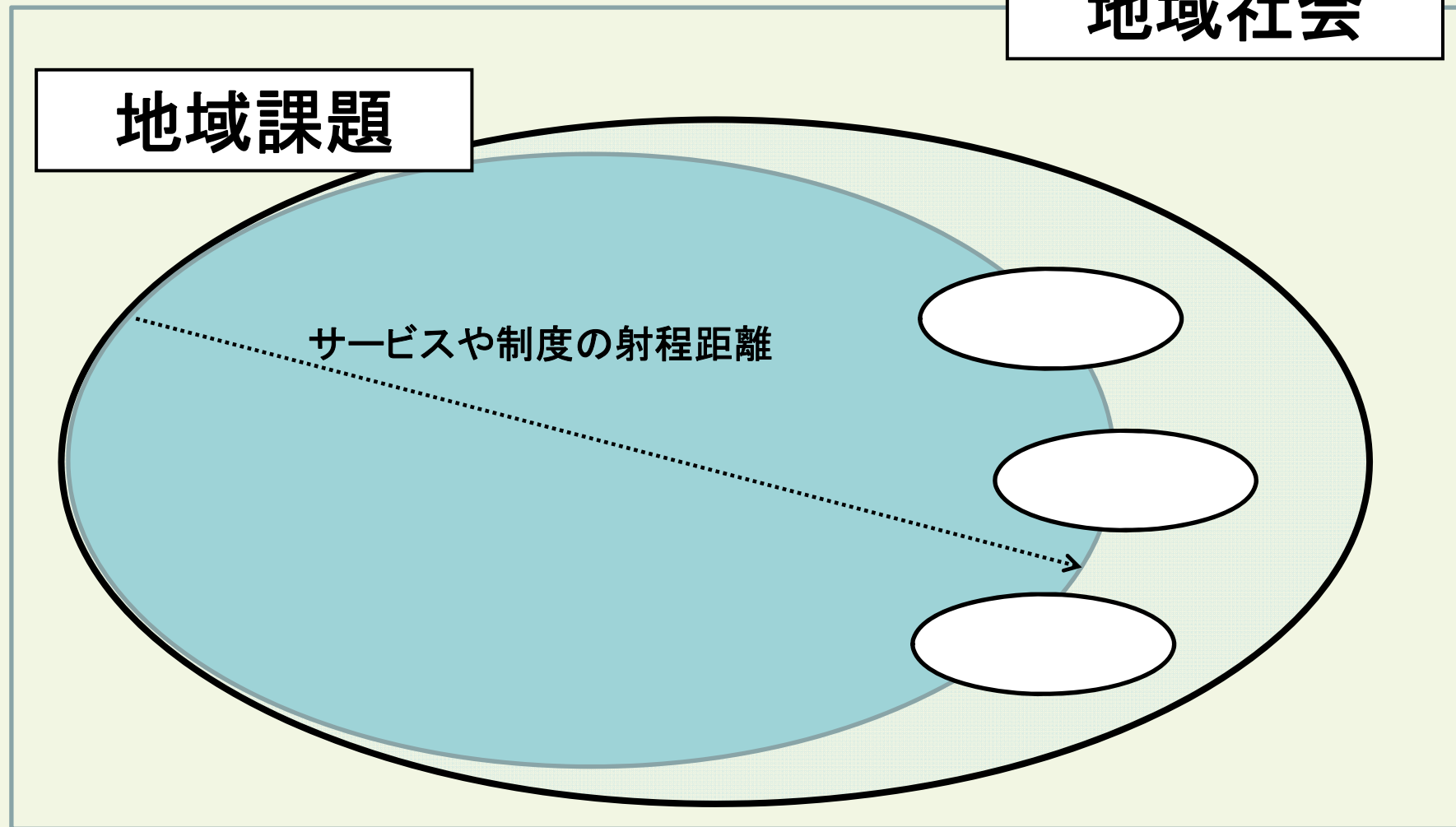
- 体力はもつのだろうか。
- バリアフリーなど、ホテルの設備は自分にとって十分に整っているのだろうか。
- 頻繁にトイレに行かなきゃいけないが、休憩や移動時間は十分だろうか。
- 荷物を一人で運べるだろうか
- 旅行中、ペットや植木の世話を代わりにしてくれる人はいるのだろうか

■ 制度・サービスの射程距離

地域社会

地域課題

サービスや制度の射程距離



しゃらく旅倶楽部事業とは、

旅行専門スタッフが、
要介護者～ターミナル期の主に高齢者に対して、

(1) 旅行へのヒヤリングとお客様の身体的アセスメントを通じて、

①ご本人・家族・ドクター・担当看護師・ケアマネ・ヘルパー

(2) 旅行の移動・宿泊・食事に関する手配を実施し、

②お客様の負担にならない移動手段

③医療器具等の使用する場合、航空会社・鉄道会社への電源確保を依頼

④経管栄養や嚥下障害のある方には、特別な食事の手配

⑤入浴介護の人の手配

(3) 旅行の道中は、看護・介護・付き添いサービスを提供

⑥旅行当日は、看護・介護・付き添い実施

することにより、お客様に、安全と安心な旅行を買って頂くことがビジネスです。

ソーシャルビジネス事業を実施してきた中での課題や障害

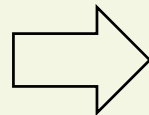
(1) 資金面 必要資金は800万 お金がないと入口にすら立てない…
やる気と実態はあっても実績のない私たちに、どこの銀行もお金をしてくれなかった…。
よって、必要な資金は当時アルバイトで稼いだ。

究極の貧困生活 ⇒ しゃらくの仕事に加えてアルバイト
365日×2年間×8時間×4人 = 10,000,000円以上貯める。
※現在はスムーズに借入ができています。

(2) NPOワーカーとしての誇りと、NPOのイメージに苦しむ

NPO = ボランティア

NPO = コミュニティビジネス



料金は安くて「当たり前・・・」

(3) 資金がない（現在進行形中）

- ・事業拡大をするための大胆なプロモーション活動ができない…。
- ・サーズやインフルエンザ、戦争、震災等の外部要因に経営が左右されやすく、体力勝負
- ・よって、いい人財がいても雇用するのにためらう

(4) ソーシャルビジネスの助成金がない

- ・SBとは、政府の施策でも効果的な解決ができない社会課題を、商品やサービスを適正な価格で販売し、社会課題を解決しながら経営を成り立たせること。
販売し経営を成り立たせるという性質上からか、助成金があまりない。